

『バシャバシャ、プニプニ、モニョモニョ』 4歳児 4月 伏見こども園

エピソード

雨上がりの日。園庭に水たまりができ、ぬかるんでいました。Aくんはシャベルで泥をすくってバケツいっぱいにした後、泥の中に両手を入れ、「バシャバシャしてる!」と近くにいた保育者に伝えました。泥の中に手を入れたり、泥がたくさんついた手を見せたりすることを繰り返した後、今度は泥の表面を両手で叩くように触り、「プニプニや!」と感じたことを伝えていました。Aくんが「先生も触ってみて」と伝えたので保育者も泥の表面を触ってみました。保育者「本当だね。プニプニするね」と感触を確かめ、Aくんに声を掛けると嬉しそうにしています。

さらに、Aくんは両手をバケツの中に入れて泥をかき混ぜるように手を動かすと、泥がバケツの中から溢れ出し、Aくん「モニョモニョ砂出てきた」と面白そうです。近くにいたBくんもその様子を見て「僕も触らせて」と人差し指で泥を触り、「泥が手についた」と見せ合っていました。

子どもの育ちや学び

バシャバシャしてる!
(泥の感触の面白さ)



プニプニや!
(泥の感触の違いに気付く)



モニョモニョ砂出てきた
(泥が溢れ出す面白さ)



- ・両手や手の平、指先で泥の感触を味わい、言葉で表現する。
- ・バケツの中の泥と表面の泥、泥が溢れ出す時の感触の違いや様子に気付く。
バケツの中の泥 → 砂粒のザラザラした感じがある泥
バケツの表面の泥 → 水が含み、手にひっついてくるような泥・トロトロした様子
バケツの中から溢れ出す泥 → ゆっくりと泥が出てくる様子
- ・保育者や友達と泥の感触や様子を共有する。

保育者の思い

- ・雨上がりで地面がぬかるんでいる様子に目を向けて遊び出す子どもの姿が素敵だと思い、傍で見守りました。
- ・手で泥の感触を味わい、言葉で表現している姿に面白さを感じました。「バシャバシャ」「プニプニ」「モニョモニョ」という言葉が泥のわずかな感触の違いや様子を表しているなと思いました。
- ・Aくんの「先生も触ってみて」という声から、保育者も泥の感触を確かめることで、Aくんが感じていることや気づきを分かち合いました。子どもの思いや気づきを大切にしていきたいです。

家庭だったら・・・

日常生活の中で感触を味わい、面白さを感じることで「もっと知りたい」「どうして?」など、子ども達の好奇心が広がっていくように思います。これからも遊びからたくさんの経験や学びを得られるようにしたいですね。